

ルートヴィヒと伝ルドルフ大公

七つの セプテット

～ ベートーヴェンの最大人気作とその影響～

伝ルドルフ大公:七重奏曲 ホ短調 Septet in E minor

ベートーヴェン:七重奏曲 変ホ長調 作品20 Septet in E-flat major op.20

ヴァイオリン 若松夏美 ヴィオラ 成田寛 チェロ 鈴木秀美 コントラバス 今野京 クラリネット 満江菜穂子 ホルン 塚田聡 ファゴット 向後崇雄

2025年 **3月27日** (木)
19:00 開演(18:30開場)

■ HAKUJU HALL

東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5 (株)白寿生科学研究所本社ビル
千代田線代々木公園駅出口1より徒歩5分
小田急線代々木八幡駅南出口より徒歩5分
*ホールにはお客さま用駐車場はございません。
近隣の駐車場をご利用ください。



■チケット料金 (全指定席、税込):
一般 5,000円 BKJ会員 3,000円
学生 2,500円

■チケットお申込み
e+イープラス <https://eplus.jp/> *一般、学生券のみ取扱い
アルテ・デラルコ・ホームページ <http://www.artedellarco.com/>
日本ベートーヴェンクライス(BKJ) beethovenkreis@gmail.com



ベートーヴェンの生前で最も人気があった弦楽器と管楽器による七重奏曲。いよいよ最高のメンバーによるピリオド楽器の演奏で聴くことができます。ベートーヴェンの初期作品(1799年)で、野外セレナーデとハルモニー・ムジーク(管楽合奏)の伝統に、協奏曲の原理が加わった当時流行のスタイルですが、この楽器編成は知られる限り本作が初めてです。個々の楽器はしばしば独奏風に扱われていますが、とくにヴァイオリンは協奏曲といってもよいほど大活躍します。メヌエット楽章の主題は

おなじみのピアノ・ソナタ第20番長調作品49の2からとられています。この作品とその系譜についての詳細なデータ冊子が当日のために作成される予定です。

ベートーヴェンの七重奏曲があまりにも大人気を博す作品となったので、以後多くの作曲家が影響を受け、同じ編成あるいは似たような編成で七重奏曲や八重奏曲を作曲しています。そうした中で、今回は、弟子ルドルフ大公作とされたことのある作品も演奏されます(おそらく本邦初演)。なかなか良い曲です。その本当の作曲者は誰か? いつ頃の作品か? 当日をお楽しみに!

ヴァイオリン
若松夏美

ヴィオラ
成田寛

チェロ
鈴木秀美

コントラバス
今野京

クラリネット
満江菜穂子

ホルン
塚田聡

ファゴット
向後崇雄



【日本ベートーヴェンクライス Beethovenkreis Japan】

日本ベートーヴェンクライス(BKJ)では、ベートーヴェンとその周辺の研究や演奏を中心に年6回程度のレクチャー・コンサートを行い、会報を発行しています。どなたでも随時ご入会いただけます。演奏会当日の入会も可能です。詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ <https://sites.google.com/view/beethovenkreis>



主催: 日本ベートーヴェンクライス <https://sites.google.com/view/beethovenkreis>
協力: (株)アルテ・デラルコ <http://www.artedellarco.com/>
お問合せ: BKJ事務局 beethovenkreis@gmail.com fax. 03-5685-7797
(株)アルテ・デラルコ info@artedellarco.com tel.048-877-8190